

# ■ 調査レポート

本公社アンケートによる県内経済動向

## 【調査の概要】

平成22年1月31日 時点調査（郵送法）  
調査対象 県内1,000社  
回答企業428社（回答率42.8%）

# ～ 製造業を中心にやや改善窺われる ～

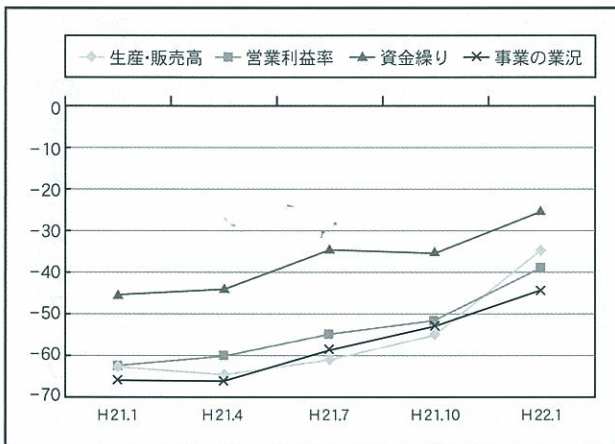
## 【全産業D I 値】（表1・表2）

山形県全体のD I 値（※）の前年同月比推移は、生産・販売高（H21.10調査▲54.0→今回調査▲35.0）、営業利益率（▲51.2→▲39.0）、資金繰り（▲34.6→▲25.4）、事業業況（▲52.1→▲44.2）といずれの数値も改善傾向を示しており、平成21年1月・4月を底とした景況感からの回復基調にあることが窺われる。

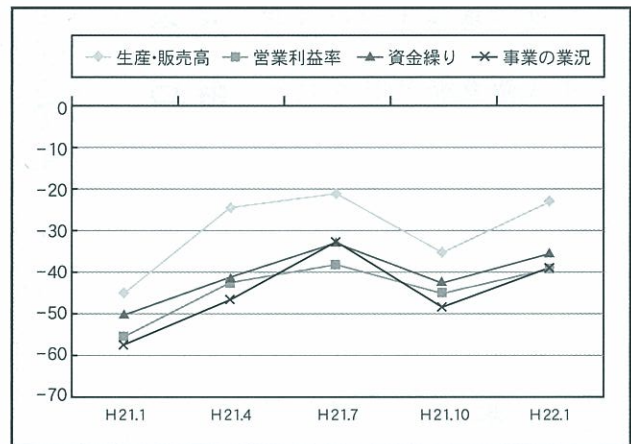
一方、3ヶ月先見通しD I 値（表2）をみると、前回調査に比べ全体的に改善傾向が見受けられる。（H21.10調査生産・販売高▲34.9→今回調査▲23.2）、（営業利益率▲44.8→▲39.3）、（資金繰り▲42.2→▲35.2）、（事業の業況▲48.3→▲38.9）

前回調査（H21.10）では、前年同月比では改善傾向が見られたものの、3ヶ月先見通しでは厳しい見方をしている企業が多かったことと比較し、今回調査では今後の見通しにも期待を寄せている企業がより増加していることが窺える。

【表1—県計前年同月比D I 値の推移】



【表2—県計3ヶ月先見通しD I 値の推移】

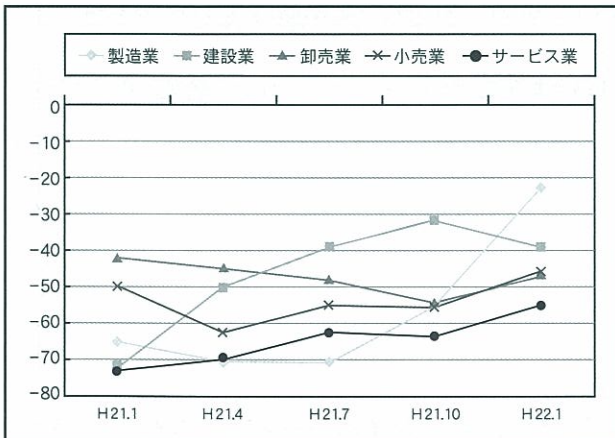


## 【産業別D I 値】（表3・表4）

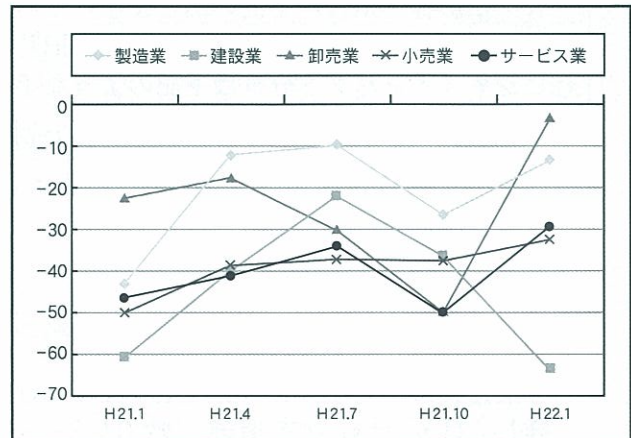
生産・販売高の前年同月比D I 値を業種別の推移でみると、今回調査では建設業（H21.10調査▲30.6→今回調査▲40.0）が約1年ぶりの下落傾向となったが、他の産業では回復基調が見受けられ、特に製造業では33.2ポイントの大幅な回復傾向見られる。（製造業▲56.1→▲22.9）、（卸売業▲55.3→▲45.5）、（小売業▲56.7→▲44.8）、（サービス業▲64.5→▲55.2）

3ヶ月先見通しD I 値についても全般的に改善傾向が見受けられるが、建設業は厳しい見方をしている企業が多い結果となっている。（製造業▲27.1→▲13.2）、（卸売業▲50.0→▲2.3）、（小売業▲37.0→▲31.9）、（サービス業▲50.0→▲29.3）、（建設業▲36.0→▲64.0）

【表3—業種別前年同月比（生産・販売高）D I 値の推移】



【表4—業種別3ヶ月先見通し（生産・販売高）D I 値の推移】



（※）D I 値：「増加」とした企業の割合から「減少」とした割合を差し引いた指数